

人むすびの場

第3回テーマ “社会起業家としてのチャレンジ”

日時	平成20年9月26日(金) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場を一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください
新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします

走りながら考えていき
ま～す！皆さんと創る
場からネットワークや
プロジェクトが大きく
育ちますように・・・



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ「**大人の為の社会起業家講座**」
フォレスト・プラクティス 副代表 菊池 健さん
- 19:40 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 高重 和枝
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

「大人の為の社会起業家講座～世界の潮流、そして日本～」

ゲストスピーカー 菊池 健さん



2020年に、日本、そして世界で、障がい者マッサージ師の1万人の雇用を創出します。

- 社会起業家のコンサルティングと社会貢献という基盤を持つ「オフィス・マッサージ手がたり」の営業統括をしています。
- 社会起業家は、社会の課題をビジネスの手法で解決する人です。「ソーシャル・イノベーション(社会的単位の新しい工夫)を起こしているか」が鍵です。
- 世界にはベンチャー・フィランソロピーの新しい資金の流れがありますし、国内の中間支援組織が社会起業の支援をしています。
- 「オフィス・マッサージ手がたり」は、最近、うつ病が企業でも問題になっている中、身体をほぐすと心もほぐれるということで、企業の福利厚生としてオフィスへの国家資格を持つ視覚障がい者などのあん摩マッサージ師の派遣をしています。
- マイナスに考えるところを、強みと捉える逆転の発想で事業を伸ばしてきました。
障がいがあるから、手間がかかる？店舗がないから、知られないの？二人一組で動くので高いの？



【略歴】(有)フォレスト・プラクティス 代表取締役副社長
1973年東京都生まれ。日本大学理工学部機械工学科卒業後、機械専門商社(1997-1999)、プライス・ウォーターハウス・クーパーズ・コンサルタント(2000-2004)、ITベンチャー(2005-2007)を経て、2007年10月に(有)フォレスト・プラクティスに入社、同年、12月に同社代表取締役副社長に就任。オフィスマッサージ「手がたり」ブランドの営業と現場を統括している。

大人の為の社会起業家講座 ～世界の潮流、そして日本～

2008年9月26日

菊池 健
(フォレスト・プラクティス 副代表)

商社マン → 外資コンサル → (板前) → ITベンチャー → 現在社会起業家

© フォレスト・プラクティス

1

社会起業家の定義

- 社会起業家は、社会の課題をビジネスの手法で解決します。
- 定義: 社会起業家とは、「ソーシャル・イノベーションを起こす人」(一橋大学大学院商学研究科・谷本寛治教授)。



「ソーシャル・イノベーションを起こしているか」が鍵です。

© フォレスト・プラクティス

2

イノベーション(新しい工夫)があるか？ ～イノベーションの3類型～

- プロダクト・イノベーション
(製品単位の新しい工夫)

製品 「ウォークマン」等

- プロセス・イノベーション
(工程単位の新しい工夫)

工程 「かんばん方式」等

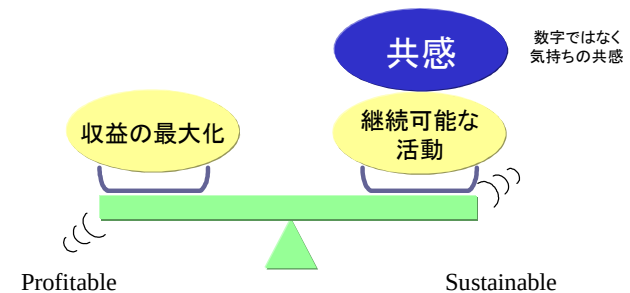
- ソーシャル・イノベーション
(社会単位の新しい工夫)

社会起業家
社会

© フォレスト・プラクティス

3

次の経済体制？大切なのは？



© フォレスト・プラクティス

4

海外事例



「あなたはきっと、
本を持って帰ってきてくれると信じています。」



2000年にネパールでスタートで2008年現在 170万人の子供達に学びの場を提供

学校設立数:	442 軒
図書館設立数:	5,160 軒
寄贈図書数:	220万 冊以上
女子教育プログラム(少女向け奨学金):	4,036 人
パソコン教室・語学学校設立数:	155 軒
進出国数:	8カ国



Cambodia /India/Laos/Nepal/Sri Lanka /Vietnam / South Africa /Zambia



© フォレスト・プラクティス

5

国内事例

マザーハウス



「国際機関の職員にもなってはみたけども、
バングラデッシュには、日本や米国じゃわからないことが
い〜っぱい転がってるの！」

2005年に日本国内に販売会社設立
バングラデッシュ特産のジュート(インド麻)を用いた、独特の風合いの商品を企画・製造・販売
国内直営店舗数: 4 店
卸し先店舗数: 10 店 東急ハンズなど
バングラデッシュ雇用創出: 町工場4人 ⇒ 40人
国内では、“情熱大陸”に出演、書籍の出版など、若手社会起業家のシンボルの存在に



山口絵理子さん



Idea Frames
表参道ヒルズなど

9/23(火)Open
小田急新宿店
2階サンドリーズアレー



© フォレスト・プラクティス

6

海外事例 中間支援

世界の潮流 ～新しい資金の流れ～ 「ベンチャー・フィランソロピー」

- 従来のように「単に、NPOへ寄付を出しっ放し」ではなく、「お金も出すし、汗もかく。NPOが有効に資金が使用するよう、プロ精神でNPOを支援する」概念。



・ビル&メリンダ・ゲイツ財団: 300億ドル
・ウォーレン・バフェット、ゲイツ財団へ
400億ドルを寄付

→計700億ドル(中進国であるペルーのGDP規模に相当し、ルクセンブルグや、スロベニア、クロアチアのGDPの2倍(IMF))。いわば、フィランソロピーが国家規模で出現。

© フォレスト・プラクティス

7

国内事例 中間支援

国内中間支援組織事例



- SU 社会的事業の開発・育成・普及・ネットワーク・マッチングを行うことによって、社会的企業が行う事業推進を支援する中間支援組織です。

ETIC. 次世代を創る起業家・経営者・リーダーのために。
Entrepreneurial Training for Innovative Communities.

- ETIC. ETIC.の起業支援プログラムでは、営利・非営利を問わず、志と情熱を持って事業に取り組む20代の若手起業家に、ステージアップのチャンスを提供します。

Social Venture Partners Tokyo
ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京

- SVP東京 1) 投資先であるソーシャルベンチャーのミッションの達成と同時に、2) SVPの会員であるパートナー自身が、投資協働先への支援に参画し、地域や社会への関与を通じて成長することを通じて、地域や社会のイノベーションを起こすことを狙いとしています。

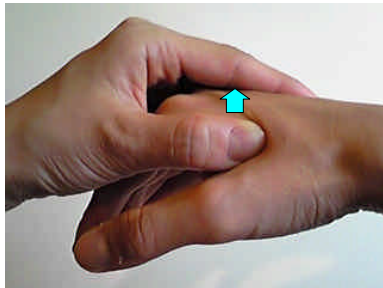
GB グローバル・ブレイン株式会社
GBは登録した支援にこたわる独立系ベンチャーキャピタルです

- グローバルブレイン社(VC) 社会起業家にとって、補助金や寄付金は貴重な収入源ではありますが、それらに依存することなく、強固なビジネスモデルを構築することによって、初めて持続可能性(サステナビリティ)のある社会貢献事業を実現することができるのではないだろうか。更に、社会貢献事業を「社会変革」にまで高めていくためには、株式会社公開もその選択肢の1つであると考えられます。つまり、株式市場から調達したまとまった資金を活用し、更なる事業の拡大や人材の育成、他の社会貢献事業への再投資を行うことで、持続的に社会を変革していくことが可能になります。

© フォレスト・プラクティス

8

オフィスマッサージ「手がたり」



ごうこく(合谷)親指と人差し指の付け根を、反対の手の親指で押し、親指の腹を手の甲側に向けたときに、ビリッとした痛みを感じるつぼ

【効能】: 目の疲れ、肩こり、歯痛、月経痛、屋下がりのセミナーの眠気覚まし

オフィスマッサージ「手がたり」とは

社会貢献という基礎を持つ、ビジネスシーンでのマッサージ専門業者

訪問マッサージ

1~1000人ほどの事業所

週1~月1回 マッサージ師が訪問

小会議室にベッドなどを宅配

ヘルスキーパー雇用支援

101人以上の障がい者雇用検討企業

障がい者雇用が初めてor慣れてない

マッサージに〇〇を期待する会社



動画

マッサージを通じ体からメンタルケア

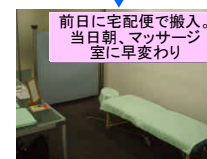
事の起こり

ヘレン・ケラー



導入事例

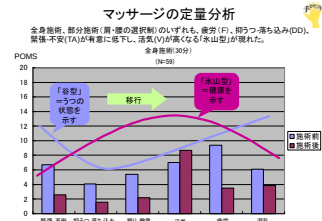
(株式会社エキップ、化粧品製造・販売業)



転換点

社会起業家(福祉)としての取材
⇒ ビジネスの中身取材

メンタルヘルス対策！！



日本産業ストレス学会
第15回大会(杏林大学)
学会報告
エビデンス化



逆手に取る考え方

目が見えない



いやいや



指先が繊細なのです

お店と違うの？



いやいや



国家資格をご存知ですか？

2人じゃ高いよね？



いやいや



2人もいるんですよ

成長の過程

M師: マッサージ師
C: コンダクター

2006年6月 1号顧客獲得

M師1名
役員1名

試行錯誤期

2007年春 2号顧客獲得 ベテランマッサージ師&福祉専門学校生入社
2007年夏 徐々に顧客獲得 菊池参加 NHK教育テレビ・福祉NW出演
2007年秋 勉強会開始、組織化開始 テレビ東京WBS出演
2007年12月 大手企業向け、新規事業(障がい者雇用支援)開始
2008年3月 顧客企業が2桁を突破
2008年5月 自社開催メンタルヘルス対策セミナー実施
2008年7月 G社に障がい者マッサージ師第1号入社
2008年8月 仕事の1割ほどが、セミナーやイベント、講演など
2008年9月 メンタルヘルス専門業者と共催セミナー実施
2008年10月 更にマッサージ師を増員 第3者割当増資
年内店舗開店計画(BtoB)

M師3名
C 2名
役員1名

M師3名
C 3名
役員2名

M師5名
C 4名
役員2名

オフィスマッサージ導入事例 B社(デザイン会社、本社東京、社員30人)

導入の きっかけと 目的	【導入のきっかけ】	B社役員が、日経新聞のオフィスマッサージ記事を知り、トライアルを経て導入。
	【導入目的】	デザイン業界は残業が多いが、中小企業のB社ではメンタルヘルス対策が遅れがちだった。実際に休職者を出し、人員補充できず、残った人員の残業代が急増。訴訟リスクの予防策としても、導入を決定。
導入状況	【対象部署】	本社部門(営業・経理部門等)20人。
	【導入の頻度】	月2回。一日当たり、30分マッサージを5人以上。
	【実施の準備】	社内へ告知し、予約受付。実施日前日の荷受。
導入効果	【月予算】	10万円。(荷物の運搬代等、含む諸経費)
	【導入効果】	「絶えず緊張を強いられる社内の一会議室で、リラックスして受けられる」 「30分とはいえ、貴重な休息の時間になる」 「休職者を出す前に、オフィスマッサージを、導入しておけば良かった」(同社総務課長)

【参考資料】 導入企業 一覧

- ・ 株式会社エキップ(化粧品製造販売業)
- ・ 東京都中小企業振興公社(公益団体、会員の中小企業への福利厚生パッケージ)
- ・ 株式会社オフィスマネジメントシステム(オフィスデザイン会社)
- ・ ドイチェアセットマネジメント株式会社(外資系金融機関)
- ・ 株式会社ディージー&アイベックス(企画会社)
- ・ NECソフト株式会社(IT)
- ・ 株式会社ヒューマンシステム(IT)
- ・ 株式会社ベリサーブ(IT)
- ・ BPジャパン株式会社(エネルギー)
- ・ オーセブン株式会社(IT)
- ・ ゴールドマン・サックス・ホールディング(外資系金融機関、イベント出展)
- ・ グーグル株式会社(IT、ヘルスキーパー雇用)
- ・ UBS銀行(外資系金融)
- ・ 株式会社 サニーサイドアップ
- ・ 株式会社 ピースマインド(メンタルヘルスペンダー)

オフィスマッサージ「手がたり」とは

社会貢献という基礎を持つ、ビジネスシーンでのマッサージ専門業者

訪問マッサージ	ヘルスキーパー雇用支援
1～1000人ほどの事業所	101人以上の障がい者雇用検討企業
週1～月1回 マッサージ師が訪問	障がい者雇用が初めてor慣れてない
小会議室にベッドなどを宅配	マッサージに〇〇を期待する会社

オフィスマッサージ店舗

- 20人以下の小規模企業
- 勤務形態が特殊で社外のサービスを期待
- 社員のスキルアップと、別事業展開

夢・ビジョン

2020年に、日本、そして世界で、
障がい者マッサージ師の1万人の雇用を
創出する。

参考文献

- 【社会起業家について ～起業家精神を学ぶ～】
『マイクロソフトでは出会えなかった天職 僕はこうして社会起業家になった』(ジョン・ウッド)
『裸でも生きる』(山口絵理子)
『世界を変える人たち』(井上英之監訳)
『チェンジメーカー』(渡辺奈々)
『チェンジメーカーⅡ』(渡辺奈々)
『社会を変えるを仕事にする』(駒崎弘樹)
『おしゃれなエコが世界を救う』(サフィア・ミニー)
『経済セミナー2007年9月号』(日本評論社)
『経営はロマンだ!』(小倉昌男)
『ソーシャルエンタープライズ』(谷本寛治)
『社会イノベーション事例集 2008』(内閣府、渡辺孝)
【問題解決力を学ぶ】
『問題解決プロフェッショナル「思考と技術」』(齋藤嘉則)
【会計を学ぶ】
『稲盛和夫の実学—経営と会計』(稲盛和夫)

※ いずれも読みやすい良書で、入門になると思います。
そして、読書もよいですが、実行あるのみ!

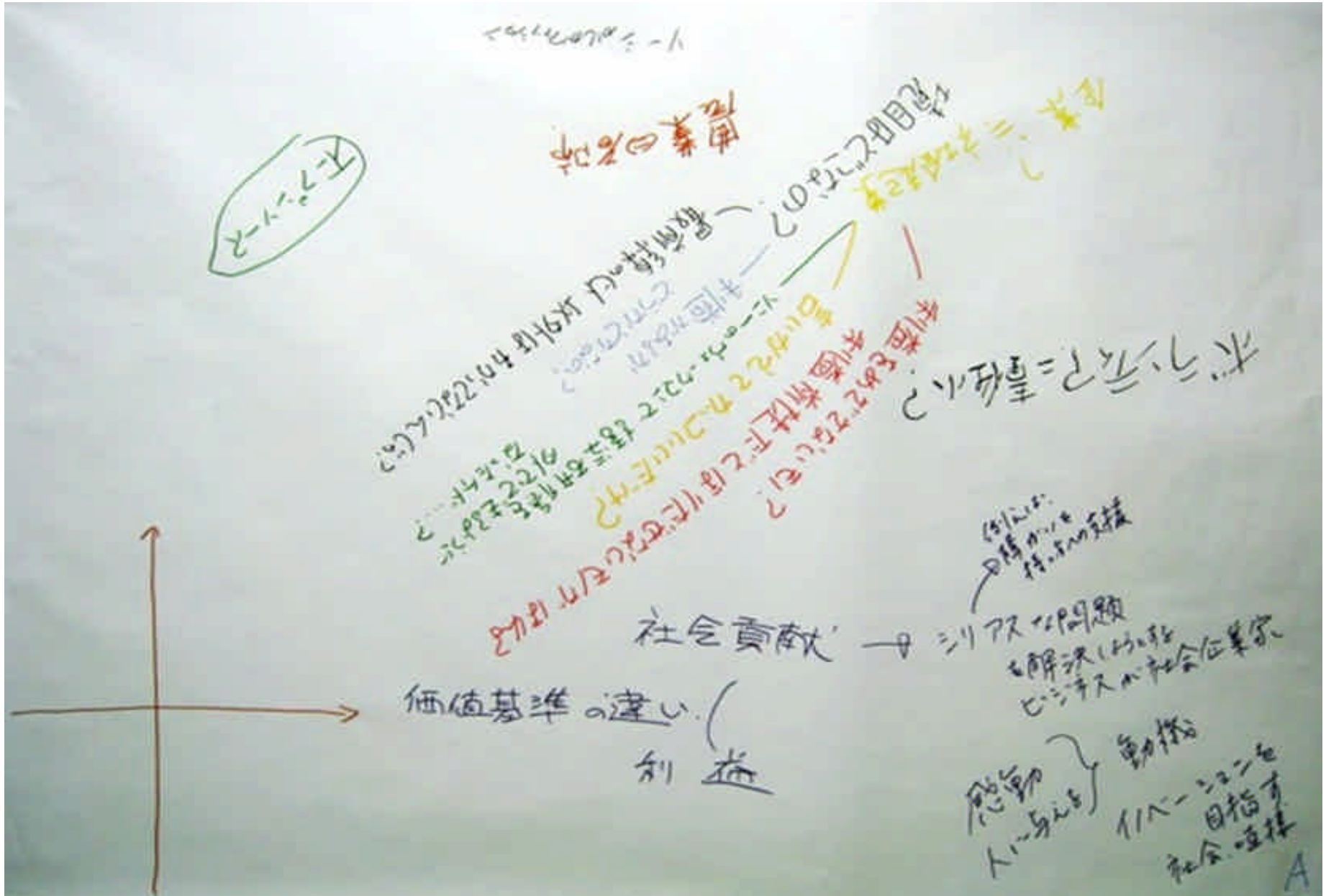


人むすびカフェ



人むすびカフェ

「社会起業によって、どんな未来がもたらされるでしょうか？そのために、あなたができることは何ですか？」



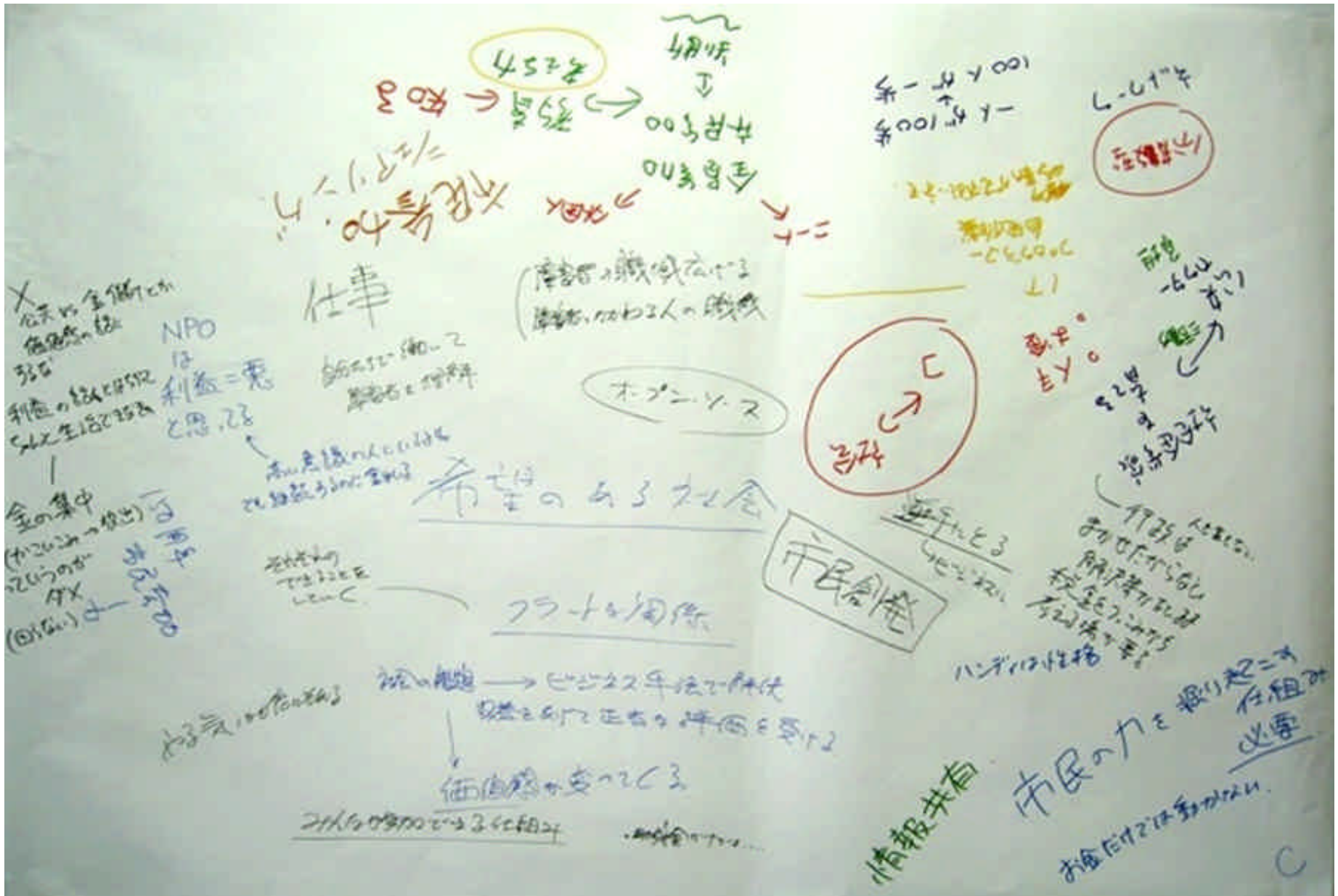
人むすびカフェ

「社会起業によって、どんな未来がもたらされるでしょうか？そのために、あなたが出来ることは何ですか？」



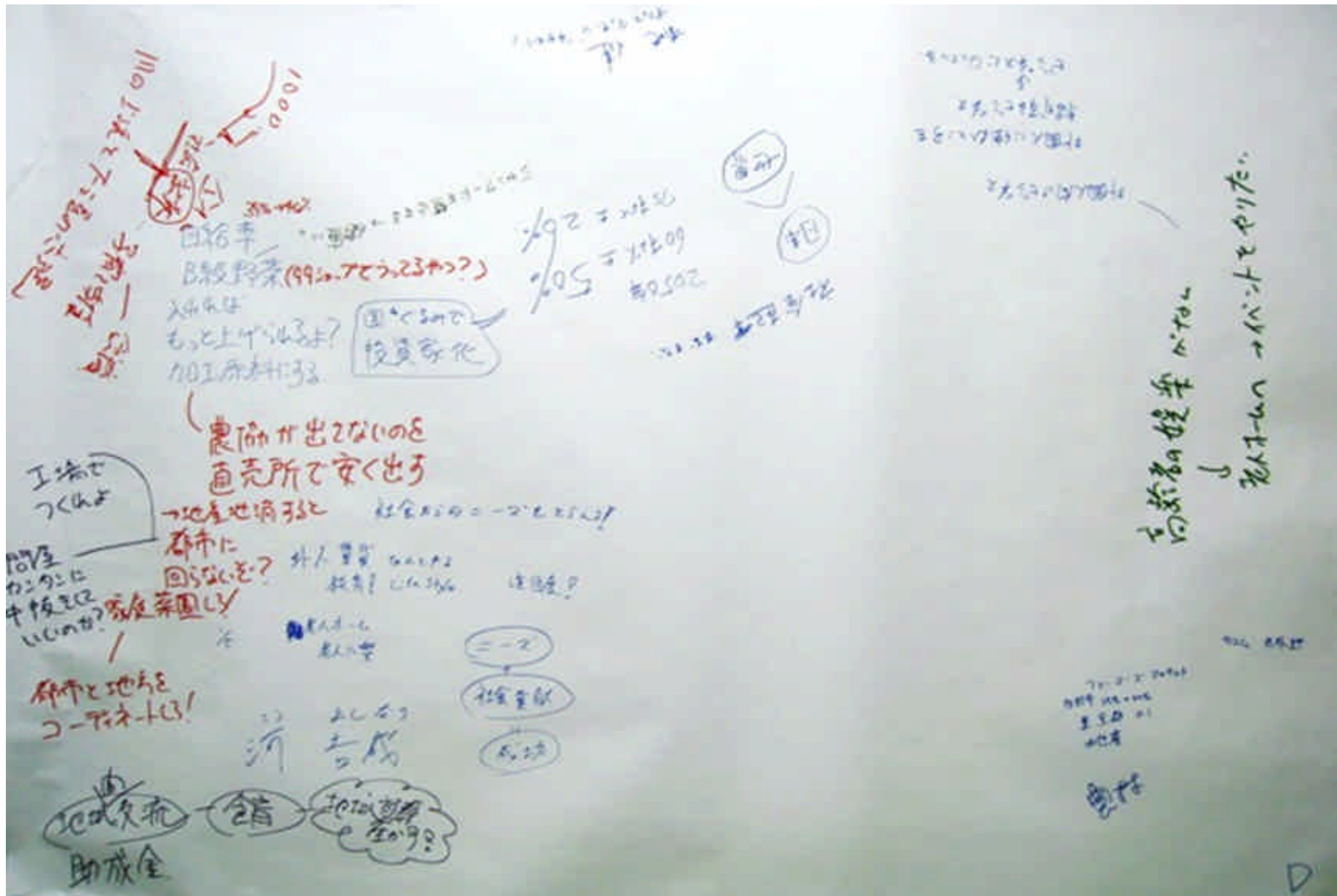
人むすびカフェ

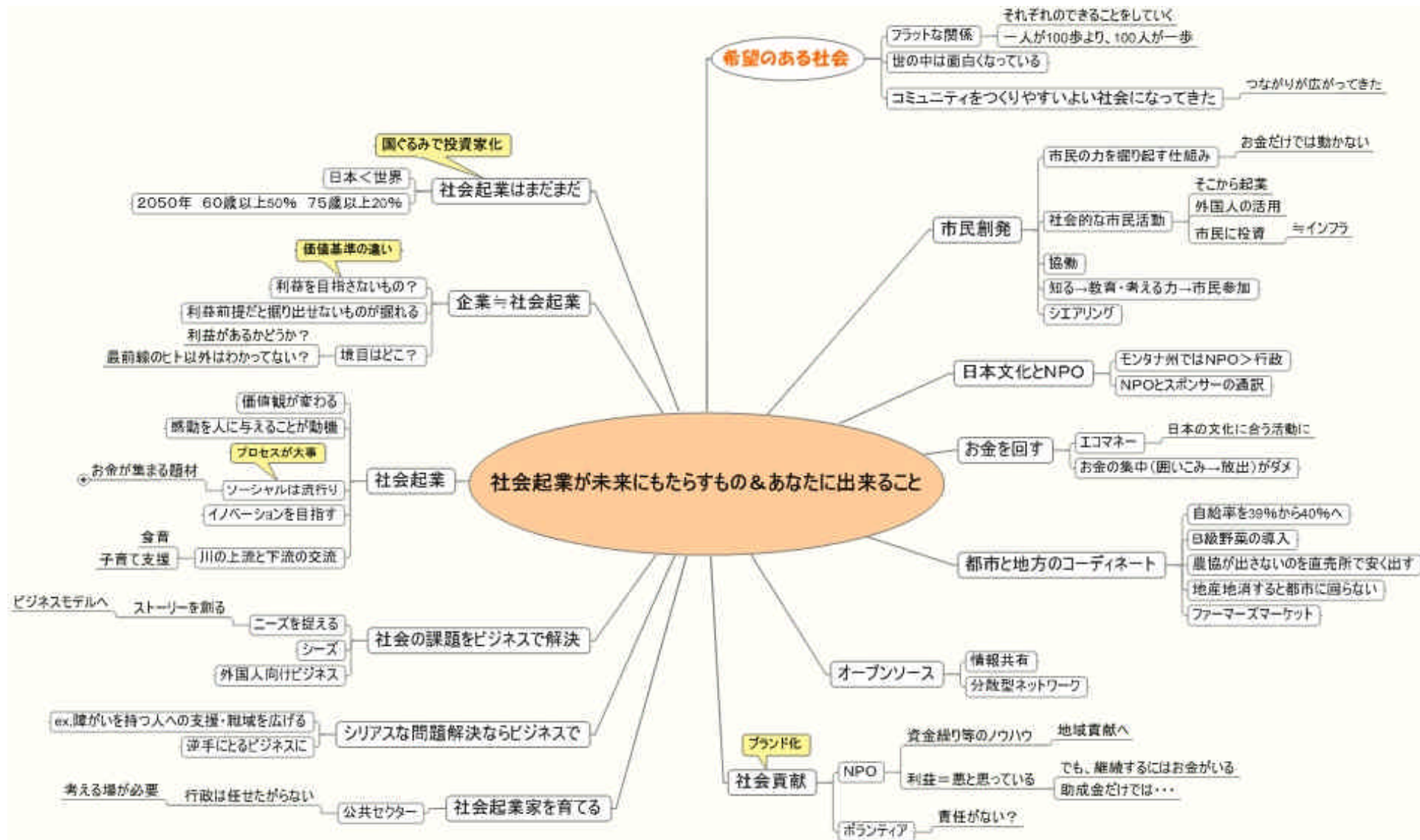
「社会起業によって、どんな未来がもたらされるでしょうか？そのために、あなたができることは何ですか？」



人むすびカフェ

「社会起業によって、どんな未来がもたらされるでしょうか？そのために、あなたができることは何ですか？」





本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・社会起業家の可能性
- ・異業種交流会はアイスブレイキング段階での、参加者のバックグラウンドを知るのが難しい点だなと思いました。それがわかればもっと深く話し合えるのに。
- ・お金を一つに集めずに、分けて全員が幸せになることで注目度が上がり、ビジネスとしてやっていけるのではないか？
- ・逆転の発想のしたたかさ
- ・大変勉強になりました。
- ・改めて社会起業の役割と価値を考えた。
- ・普通の企業と社会起業家の違いははっきりしていない。
- ・仕事、雇用を広げること →具体的にしていきたい。
- ・社会の多様なニーズへの様々な解決策があることに気づきました。
- ・人と人をむすぶ場所があることを知りませんでした。とても刺激を受けました。
- ・色々な分野で可能性があるのだと思いました。
- ・多くの種類の職業の方と一つのテーマで話し合いをすると、楽しいアイデア等が出て大変に良かった。
- ・「ワールドカフェ」の“ワールド”の意味が何となく分かった。
- ・人と人とのつながりがこれからの社会のメインテーマである。
- ・全ての仕事は社会貢献なのが当たり前と思ってたら他の人はそうでもないらしい。
- ・誰もが取り組めるようになるために、オープンソースが必要。
- ・思いだけではダメ、でも思いがないとダメ。

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・ボランティアの考え方
- ・オープンソース 社会起業は情報共有しやすい
- ・オープンソース
- ・イノベーションの定義(フツワーの仕事と社会起業を分けるモノ)
- ・オープンソース 皆で提供しあう土壌作り
- ・「トーキング・オブジェクト」=“ふくろう”方式。モンタナ州は行政よりNPOの方が大きい！？
- ・社会起業家
- ・コミュニーの大切さ
- ・オープンソース／フラットな関係
- ・「世の中おもしろくなってきた」「夢を持つ」
- ・社会的ニーズを見つける ⇒ビジネスモデルを構築する ⇒社会貢献
- ・社会起業は価値観ではなく、プロセスで見る
- ・お金の流れ
- ・価値観を変える
- ・頭を使う ←教育 ←知る！
- ・NPOでも社会起業でも経営を成り立たせることの大切さ
- ・イノベーション

本日の感想ー③

*** その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。**

- ・社会企業という考え方、あり方について今まで関心がなかったが、本日の会で目が開かれました。
- ・人それぞれのアツイ思いが聞けて良かったです。
- ・皆さんとお話しできなかったことが残念でした。
- ・参加者の皆さんの関心が高いテーマでよかった。
- ・社会起業について、考える良い機会になりました。
- ・時間が短かったですね。工夫しましょう。
- ・参加者の活発な発言が良かったです。
- ・時間が短いので、別途継続のアイデアも必要。
- ・多くの方とお会いできて、大変楽しかった。
- ・初めてなので・・・とまどったが、自分が何を話したいかが・・・見えてきたような気がします。
- ・時間が短く感じられたが、面白かった。
- ・質問タイムがあると良かった。
- ・プレゼンは練習が肝心ですねえ・・・
- ・事業紹介会の機会も面白いです。
- ・人と話す事で、話に拡がりを感じました。

皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。